

## NEWS RELEASE

2018年10月31日  
株式会社三菱総合研究所

## 2018年7-9月期 GDP 1次速報予測

株式会社三菱総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:森崎孝)は、内閣府より11月14日(水)に公表予定の2018年7-9月期のGDP速報(1次QE)について予測を行いました。

2018年7-9月期の実質GDPは、季節調整済前期比▲0.2%(年率▲0.7%)と予測します。

2018年7-9月期の実質GDPは、季節調整済前期比▲0.2%(年率▲0.7%)と、2四半期ぶりのマイナス成長を予測する。背景には、4-6月期の高い伸びの反動に加え、相次いだ自然災害の悪影響がある。

消費は、実質季調済前期比0.0%と横ばいを予測する。雇用・所得環境の改善は続いているものの、生鮮食品やガソリン価格の上昇や、自然災害による被災地域の消費抑制が重石となったとみられる。設備投資は、企業収益の改善や人手不足による自動化・省力化ニーズの高まりを背景に、高水準での推移を見込むが、4-6月期の反動もあり、同▲0.6%と8四半期ぶりの減少を予想する。

輸出は、半導体関連は堅調を維持しているものの、自動車の減少を主因に、同▲1.7%と9四半期ぶりの減少を予測する。米国自動車販売の不振に加え、平成30年7月豪雨による国内主要自動車メーカーの生産一時停止が影響したとみられる。輸入は同▲1.3%と、内需の弱さを反映して4四半期ぶりの減少を予想する。結果として、外需の寄与度は▲0.1%pと小幅ながらマイナスを見込む。

表 2018年7-9月期 GDP速報 予測結果

単位：断りがない限り 季調済前期比 (%)		2017年	2018年		
		10-12月期 実績	1-3月期 実績	4-6月期 実績	7-9月期 予測
実質GDP		0.2	▲0.2	0.7	▲0.2
	季調済前期比年率	(0.9)	(▲0.9)	(3.0)	(▲0.7)
民間最終消費		0.3	▲0.2	0.7	0.0
民間住宅投資		▲3.0	▲2.5	▲2.4	▲1.0
民間企業設備投資		0.9	0.7	3.1	▲0.6
民間在庫	寄与度	0.2	▲0.2	0.0	0.0
政府最終消費		0.1	0.0	0.2	0.6
公的固定資本形成		▲0.6	▲0.4	0.0	▲2.6
財・サービス輸出		2.1	0.6	0.2	▲1.7
財・サービス輸入		3.3	0.2	0.9	▲1.3
内需	寄与度	0.4	▲0.3	0.9	▲0.1
民間	寄与度	0.4	▲0.3	0.8	▲0.1
公需	寄与度	0.0	0.0	0.0	▲0.0
外需	寄与度	▲0.1	0.1	▲0.1	▲0.1
名目GDP		0.3	▲0.4	0.7	▲0.1
	季調済前期比年率	(1.2)	(▲1.5)	(2.8)	(▲0.5)
GDPデフレーター	前年同期比	0.1	0.5	0.1	▲0.1
国内需要デフレーター	前年同期比	0.6	0.9	0.5	0.9

注：表中の実績値は、2018年4-6月期2次QEに基づく。シャドー部分が今回の予測値。  
出所：実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所(<http://www.mri.co.jp/>)  
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済研究センター 森重彰浩 田中康就  
電話:03-6705-6087 メール:[morisige@mri.co.jp](mailto:morisige@mri.co.jp)

【取材に関するお問い合わせ】

広報部  
電話:03-6705-6000 メール:[media@mri.co.jp](mailto:media@mri.co.jp)

本資料は、内閣府記者クラブおよび当社にてコンタクトのある記者の方々にもご案内しております。